

# 令和7年度（2025年度）厚生常任委員会管外視察の概要

1 観察日 令和7年（2025年）11月4日（火）～6日（木）

2 観察者 厚生常任委員会（7名）

岩本浩治（委員長）、荒川知章（副委員長）、  
藤川隆夫、内野幸喜、岩田智子、亀田英雄、立山大二朗

3 観察の概要

（1）岡山市役所

岡山市は、平成25年2月から全国で唯一の在宅介護に焦点を当てた総合特区として、「高齢者が介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる社会の構築」を目指して様々な事業を実施している。

今回の視察では、総合特区としての事業概要と成果等について説明を受けた。

岡山市医療政策推進課から、総合特区での事業成果を元に国と協議し、全国的な制度の創設や改正実現を図っているとの説明があった。



（2）岡山県社会福祉協議会（岡山市）

岡山県社会福祉協議会人材センターは、岡山県福祉・介護人材確保対策推進協議会を設立し、福祉・介護人材に携わる機関や団体と目標を共有し、役割分担を明確にしながら、連携と協働の意識を醸成し、オール岡山で地域の実情に応じた人材の確保に取り組んでいる。

今回の視察では、同協議会の福祉人材の定着・確保に向けた取組み等について説明を受けた。

岡山県社会福祉協議会から、福祉人材の定着・確保に向け、定期的にセミナーや介護フェアなどのイベントを開催し、誰もが働きやすい職場環境づくりを推進しているとの説明があった。



### (3) 社会福祉法人クムレおうちだ（岡山市）

社会福祉法人クムレおうちだでは、重症心身障がい児を対象として、利用者主体の自己選択・意思決定の支援や看護師による医療的ケアを行っており、福祉と医療が連携した支援体制を整えている。また、グループホームでは、自立・尊厳・リハビリステーションを重視し、利用者が役割や生きがいを持って暮らす環境づくりに取り組んでいる。

今回の視察では、同施設の運営理念、利用者に対する支援方法について説明を受け、その後施設の見学を行った。

社会福祉法人クムレおうちだから、どんなに障害が重くても、住み慣れた地域でその人らしく生活ができるように地域共生社会の実現を目指して地域活動等に力を入れていると説明があった。



### (4) 広島県庁 感染症・疾病管理センター

広島県では、平成21年（2009年）の新型インフルエンザの流行を機に、情報分析や流行防止の司令塔になる感染症・疾病管理センターを県保健環境センター内に開設した。同センターには、専門医及び行政スタッフが常駐しており、感染症発生時に迅速に対応できる体制が整っている全国でも先進的なセンターとなっている。

今回の視察では、感染症・疾病管理センターの概要や保健所との連携方法、次のパンデミックが起きた際の準備について説明を受けた。

広島県健康危機管理課から、新興感染症への対応訓練を行っており、有事の際に病床確保ができるのか検証を行っている。

また、5類移行後もクラスターが生じた高齢者施設等への支援も行っていると説明があった。



## (5) 東広島市役所 健康福祉部 地域共生推進課

東広島市では、地域共生社会の実現のため、「地域共生社会推進条例」を制定し、その取組みを推進するために東広島社会福祉協議会と連携し、「地域共生社会推進本部」を設置している。また、東広島市役所内に福祉の総合相談窓口「HOT(ほっと)けんステーション」を開設し、様々な困難を抱える人々に対する相談支援活動を行っている。

今回の視察では、東広島市における地域共生社会の推進、取組状況について説明を受けた。

東広島市地域共生推進課から、相談者の問題解決に当たっては、つながり続けることが大事であるため、関係機関との協働による取組みを進めているとの説明があった。

